

医療連携推進方針

地域医療連携推進法人
和歌山メディカルネットワーク

医療連携推進方針

1. 医療連携推進区域

和歌山保健医療圏(和歌山市、海南市、海草郡紀美野町)

2. 参加法人

医療法人須佐病院(須佐病院)

医療法人福慈会(福外科病院)

3. 理念・運営方針

(理念)

人口減少や少子高齢化が急速に進む中、住み慣れた地域で誰しものが安心して暮らすことが出来るよう、地域の医療機関が相互に連携し、持続可能で安定的な医療サービスが提供出来る様に対応していきます。

地域介護については、認知症問題や栄養ケアステーションの普及に取り組みます。

災害医療については、南海トラフ地震の対応として災害時に強い医療を目指し、連携機関と共に資源を活用し、BCPを前提に対応出来る組織を確立します。

(運営方針)

・地域のニーズに即した医療機能の分担により、質の高い充実した医療サービスを提供します。

・参加法人間の業務連携により、効率的で持続可能な経営環境を実現します。

・参加法人の専門性や特色を生かし、職員相互の情報共有及び技術研鑽を行い、地域の医療水準の向上に寄与します。

・参加医療機関相互間の機能分担・連携を推進し、質の高い医療を効率的に提供することによって、地域医療構想の達成に貢献します。

・医療機関をはじめとして、予防介護(ヘルスケア等)、住まいや生活支援等のサービスを包括的に提供する事業者等にかかれた組織とし、地域の実情に合った機能分化及び医療資源の集約化を行うことで、地域包括ケアを実現します。

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

① 医療機器等の共同購入及び共同利用

MRI、CT、腹腔鏡手術支援・内視鏡システム、超音波装置、電子カルテ等の高額医療機器等を、参加法人間で共同購入及び共同利用することにより、重複投資を抑制しコストの削減を図ります。

② 医療材料・医薬品の共同購入

利用頻度の低い医療材料や医薬品を共同購入することにより、廃棄率を低減し仕入れ額等の抑制に繋げ、経営の効率化を図ります。また、参加法人間での同一規格商品の提供が可能となり、患者へのサービスの向上や職員の業務の効率化を図ります。

③ 医療従事者の資質向上に関する共同研修

院内感染対策・医療安全(行動制限)・褥瘡対策(栄養管理)の講習会や研修会、勉強会を共同で開催し、参加法人間で共通の問題意識を持つとともに、相互が補完し合うことにより課題の解決に繋がります。

また、教育体制を充実させ、一人ひとりのモチベーションを維持することで、離職防止や能力の均一化を目指します。

さらに、施設や在宅療養への更なる移行の進展を見据え、専門性の高い看護師(特定行為研修修了者等)の研修制度を確立します。

④ 参加法人間での ICT 化の促進

ICTを活用して、電子カルテや遠隔画像診断・自動再来受付機・自動精算機といった電子機械化を推進します。また、オンライン診療・電子処方箋といった医療 DX に資する技術も導入します。

5. 介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項

① 要介護者への対応・人材育成

アセスメントとエヴァリュエーション

利用者や家族の情報収集や暮らしぶりから、ADL(日常生活動作)や IADL(手段的日常生活動作)、コミュニケーション能力や介護力、住居環境や精神状態を分析し、その後阻害要因も分析します。そして、モニタリングの後事後評価で再検証するというサイクルを構築することで有能な人材を育成します。

② 要介護者の情報共有化

病状悪化傾向等の利用者については、参加法人間での事前確認により情報を共有する体制を構築し、適切な医療・介護を提供します。

③ 認知症対策と職員教育

認知症対策の重要課題は、職員の病気への理解です。まず本質を理解しないと間違った対応を取ってしまいます。そのため「パーソン・センタード・ケア」、「ユマニチュード」、「バリデーション療法」等を取り入れ、認知症患者との正しい関わり方や家族に対する適切な指導法を職員に習熟させます。また、地域包括支援センターとも連携を図っていきます。

④ 地域における調剤薬局との連携

シームレスな連携を確立するため、在宅はもちろん、入退院時の情報連携と一元的・継続的に対応できる薬局(地域連携薬局が望ましい)との連携を強化します。